

# 2014日本留学アワーズ入賞!

## 西日本地区大学(文科系)部門賞受賞! 大学院部門入賞!

# 日本語教育センター通信

第18号



全国の日本語学校の教職員が選ぶ2014年日本留学アワーズ「留学生に勧めたい進学先」で、本学が「西日本地区大学(文科系)部門賞」を受賞しました。日本留学アワーズは、日本留学を志す外国人留学生の環境整備に貢献することを目的に2012年に始められたもので、今年で3回目となります。大学文科系、大学理工系、大学院、専門学校の部門ごとに東日本、西日本の上位校が選出され、上位校の中から東西各1校が部門賞を受賞します。

本学が受賞した「西日本地区大学(文科系)部門賞」は、文科系大学の西日本のトップ校にあたるものです。「関西、神戸で歴史ある私立大学としていろいろあることが学べる」「奨学金が整っている」「交流会も盛んである」ということが評価され、受賞に至りました。昨年の上位校選出から2年連続の選出で、今年も部門賞を受賞しました。

また、本学の大学院は「大学院部門入賞校」に選出されました。「母国で日本語を専攻してきた院生にとって、引き続き言語を専攻として研究できる研究室が整っている」「こちらへ出ていく学生向けに丁寧に説明してくれる。相談にも丁寧にのってくれる」という点が評価されています。

留学生への日本語教育を行っている日本語教育センターとしても、大変うれしく思っています。今後も留学生に勧めたい進学先であると思っていただけに、そして本学に入学したい留学生が関学に入学して良かった!と思えるような教育をしていきたいと思っています。



## 交換学生紹介!

この秋学期に世界各国の協定校から105名の交換学生が本学に来てくれました。そのうち5人の学生は関学への2度目の留学となります。なぜもう一度本学で学びたいと思ったのか、話を聞いてみました。



エンゲン エリサパス  
ジョーさん (オスロ大学)

2013年秋学期に関学に留学して、2014年秋学期にまた関学に来ました。今回は1年間の留学です。1回目に関学を選んだのは、キャンパスがオシャレだと思ったこと、先輩から関学の学生が優しいと聞いたからです。実際に関学に来て、思ったよりもっといい経験ができました。ホストファミリーともいい関係が築けたし、日本人の友達もたくさんできました。そして関西も関西弁も好きになりました。

それで絶対に関学に戻ってこようと思いい、そのために大学ですごく頑張って勉強しました。いい成績をとらなないと、関学に戻ってこれないからです。戻ってきて本当によかったと思っています。また友達にも会えたり、日本語のクラスではもっと大人の日本語を勉強できているし、日本語以外の経済などの勉強もする事ができるので、帰国したら、関学への交換留学が絶対にオススメだと後輩に宣伝するつもりです!

## 第14回 日本語教育研究会報告

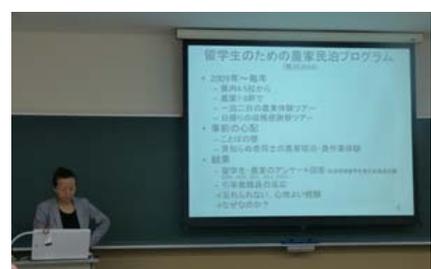
～2014年7月30日実施～



今回の研究会では、総合政策学部の牲川波都季先生(異質性受容を可能にする方略・思想・環境―秋田県仙北市のグリーン・ツーリズム事例より―)と日本語教育センターの内藤真理子先生(学部1回生を対象としたアカデミック・ライティングの指導)の2つの発表がありました。

牲川先生には、秋田県の複数の大学から留学生を募って行っている農家民泊プログラムでの事例から、ことばの壁や見知らぬ者同士の交流に不安がある中で行うプログラムがうまくいっているのはなぜかという点について、ご発表いただきました。

内藤先生には、前任校で学部1回生を対象に実践なさっていたライティングの指導での工夫をご報告いただき、本学でのライティング指導を考えるうえで大変参考になりました。



<牲川波都季先生>

年2回の研究会のうち、1回はオープンにしています。日本語教育センターのホームページや学内の掲示板等で案内しますので、日本語教育に関心のある方はぜひご参加ください。



リドフロム オスカー  
ジョランさん(リツメikan大学)

2008年秋学期から1年間関学に留学して、2014年秋学期にまた関学に来ました。1回目に関学を選んだのは、他の協定校のほとんどは、1学期の留学でしたが、関学は1年間留学できるし、日本語をちゃんと学ぶことができるプログラムがあったからです。

日本語のプログラムも良かったし、先生やCIIECのスタッフも優しくかつたので、関学に来てよかったと思います。関西も好きになりました。

前回関学に来てよかったし、日本語のプログラムがどういものか分かっていたので、また関学を選びました。

スウェーデンの大学やデンマークの大学で、教員として英語言語学や英語を教えています。留学中の今も、遠隔授業をしています。単に学生としてだけ来ているのではないので、とても大変です。でも、日本語の学士もとりたいたので、1年間頑張った留学を成功させたいと思っています。



# 日本語教育センター開講選択科目

## 「ビジネス日本語」授業報告

【担当】益淵 優子先生

ビジネス日本語Cクラスは、日本で働くことを目指す留学生のための選択科目で、就職活動の際に必要な書類全般について学ぶことを目的とした授業です。具体的には、



〈履修者の学部留学生、ラーニングアシスタントと益淵先生(中央)〉

履歴書やエントリーシートなどの提出書類に対する知識を深めるだけでなく、自己分析や企業分析、自己PRや志望動機作成にチャレンジするなど、内容まで深く掘り下げることを目指しています。授業は、事前課題グループディスカッションという流れですが、受講生の皆さんは非常に熱心に課題に取り組んでくれているので、毎回のディスカッションでは様々な発見があるようです。また、日本人学生のラーニングアシスタントが参加してくれていることも、非常に良い効果を生んでいます。授業では自分自身について語るような課題が多く、自然にお互いの理解が進むため、受講生同士で色々とアドバイスしたり、就職活動情報を交換したりするようになるのが、この授業の大きな特徴だと思っています。



〈ラドバウド大学ナイメーヘン校からの交換学生、オグスティン マヌエルさん(中央)と日本語パートナーの文学部 成田沙樹さん(左)、社会学部 松元唯さん(右)〉

文学部2年 成田沙樹さん

私は1週間に1回パートナーの交換学生とお昼ごはんを食べながら、週末したことや授業について日本語で話しています。今回は3度目の参加なので、今までの経験や反省点を活かし、交換学生が日本語で話す練習ができるよう工夫しています。難しい言葉を使ってしまう時は、わかりやすい簡単な言葉に言い換えて伝えるのは大変ですが、そうして理解してくれたり嬉

しいです。私自身この活動から学ぶことが本当に多いです。今後は日本語パートナーの活動を通して、交換学生のサポートをしながら自分自身も成長していきたいと思っています。

## 日本語パートナー活動報告



〈シドニー大学からの交換学生、ド モンチョーウィリアムさん(右)と日本語パートナーの法学部 野口拳吾さん(中央)、社内専映さん(左)〉

法学部4年 野口拳吾さん

日本語パートナーの活動を一言で言うとしたら、活動を通じて、担当する交換学生と仲良くなれるということだけでなく、会話の中で色々な価値観を共有し合えることも大きな魅力です。相手の国を知れたり、日本の事を知ってもらったりは嬉しいです。最初は、初対面で上手くコミュニケーションをとれるか不安もありましたが、2日間キャンパスの紹介や住民登録をした市役所へ一緒に行ったりするなど行動を共にしたので、仲良くなりました。パートナーの期間が終わってもずっと交流できるような関係を築いていきたいと思っています。

2014年10月10日(金)昼休みにグローバルラウンジで日本語パートナー交流会を実施しました。

今回が初めての試みでしたが、約50名の日本語パートナーが参加してくれました。軽食を食べながら話をして、お互いに悩みを共有したりする中で、日本語パートナー同士が仲良くなるいい機会となったのではないのでしょうか。

今後もこのような機会を設けたいと思いますので、ぜひ日本語パートナーの方は参加してください。

## 新任教員紹介



よろしく  
お願いします!

9月に着任しました牛窪隆太と申します。タイ、バンコクにある教育機関で3年間働いた後、大学の日本語教育センターで仕事をしながら、博士論文を書きました。日本では関東圏から出たこととはなく、新天地での生活に、日本にもまだまだ知らないことがたくさんあるなど刺激を受けている日々です。留学生のみなさんには、せっかく日本に、しかも、関学にやってくる日本語プログラムに参加したからには、関学でしかできない何かをお土産として持って帰ってもらいたいと考えています。自分自身も、実践や研究において、ここでしかできない何かを見つけていたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。



〈牛窪隆太先生〉

## センターからの お知らせ

### 2015年度春学期

春学期に来日する交換学生の日本語会話の練習や、生活の補助をしてくれる学生を募集します。

【募集説明会】※日本語パートナーに初めて申込みをする人は、いずれかの日程に参加すること。

◆西宮上ヶ原キャンパス◆

日時:2014年12月8日(月)12:50~13:20

2014年12月12日(金)12:50~13:20

場所:G-202

◆神戸三田キャンパス◆

日時:2014年12月9日(火)10:40~11:05

場所:I-105

【申込期間】2015年1月6日(火)~1月13日(火)

※WEB登録後、所定の申込用紙に記入の上、日本語教育センター事務室、またはKSC国際教育・協力センター事務室まで提出

詳細は日本語教育センターホームページで確認してください。

[http://www.kwansei.ac.jp/cje/cje\\_004054.html](http://www.kwansei.ac.jp/cje/cje_004054.html)

日本語パートナー  
募集!



発行人: 関西学院大学 日本語教育センター  
発行日: 2014年12月3日